

研修医のコーナー

これから、そして今から

この度はこのような執筆の機会をいただきありがとうございます。JCHO九州病院初期研修医 2 年目の城暁大と申します。中・高 6 年間で長崎で過ごし、大学は関西の大学に進学し、この度研修医として地元である北九州に戻ってきました。初期研修の間に元号が平成から令和に改元され、これまでの自分を振り返る機会が多かったように思います。なので、今から研修医 1 年目を振り返るとともに、今後の抱負を述べていこうと思います。

まず、4 月は期待・やる気と不安でいっぱいになりながら初期研修がスタートしました。外科スタートということもあり体力的にもきつかったですが、レジデントの先生方に優しくしていただきなんとか終わることができました。ご飯や飲みにも誘ってくださりとても充実した毎日を送りました。7 月からは内科をローテーションし、今までやってきていたこととのギャップに驚き、慣れるまでにとても苦労しました。血液・腫瘍内科で担当した患者でとても個性的なキャラクターの方が数名おり、そんな方々の最後の一瞬まで携わることができて本当に良かったと思っています。その後の救急・麻酔では同期と接する機会が少なくとても寂しい思いをしました。ですが、一人の時間ができるとで自学自習ができたり、平日の昼間に色んな所に行ったり

JCHO九州病院 じょう あきひろ
城 暁大



と中々できないことができた 3 カ月だったなと思います。最後の 3 カ月は循環器と呼吸器という大きな壁が立ちました。冬ということもあり入院の数も他の時期と比べて多く、重症な方が多かったように思います。ですが、教育熱心な先生方に恵まれ、分からないことはその都度質問して自分のものにすることができました。また、呼吸器は将来自分が志望している科でもあったため、他科と比べて一層やる気をもって日々の業務や自学自習に取り組むことができました。

ここまでで去年を振り返りましたが中々濃い 1 年だったなと思います (笑) 。これらを踏まえて 2 年目の研修をどうしていくかですが、まず 1 つは自学自習の時間をきちんと作り知識をまとめて自分のものにしていきたいと考えています。今年から働きだした後輩に正しいことを教えられて頼ってもらえたら嬉しいなと思ったり。もう 1 つは趣味を見つけたいなと思っています。月日が経つごとに肥大化していくお腹回りを見て嘆く毎日は辛いので、運動や何か自分が打ち込めるものを探していきたいなと思います。以上のことを今年の抱負として、これからの研修医としての 1 日 1 日を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。

研修医同期

JCHO九州病院で初期臨床研修をさせていた
だいています、研修医2年目の關千尋と申しま
す。こちらにお世話になって1年、あっという間
でした。振り返ると、様々なことを経験し、悩み、
学ばせていただきましたが、楽しみも苦しみも
いつも同期と一緒に、同期に支えられてきたな
と強く感じます。そこで今回は同期との日常を
少しお話しさせていただこうと思います。

私は、仕事終わりの夜、同期を誘って飲みに行
くことが好きである。仕事を終え、自席にもど
ると大抵何人かの同期が同じく仕事終わりを
のんびり過ごしている。そのメンバーに声をか
け、その日の気分に合わせて行く店を決める。この
日は、神戸から来た愛妻家同期と以前から話し
ていた餃子を心ゆくまで食べる会を開催するこ
とになった。メンバーは男性4名、女性2名の計
6名。病院を出る準備をし、まだ肌寒い黒崎の街
へたわいもない話をしながら向かう。徒歩10分
弱、黒崎の商店街のはずれにあるいつもお世話

JCHO九州病院

せき ちひろ
關 千尋

になっているおいしいおいしい餃子屋さん
に到着。店に入り指定された座席につき、すぐに飲
み物と一緒に焼き餃子10人前も注文する。最近
あった出来事や舌足らずの同期がいつも通り何
を言ったか聞き取れず、聞き直す、なんてことし
ているうちに餃子が到着。お皿いっぱいこんに
がりきつね色に焼き上げられた10人前の餃子
たちが並ぶ。ここの餃子は小さな一口餃子で、薄
めの皮にギュッと詰め込まれた肉汁たっぷりの
餡でできている。まずは、一口。口にじわ〜と
うまみが広がる。最高に幸せの瞬間である。お腹
を空かせた私たちは、会話を忘れ黙々と食べる。
10人前をペロッと15分ほどで食べ、さらに10人
前追加する。そのまま食べてもおいしいが、酢醬
油と辛みのあるラー油をつけて食べることでさ
らに、食の勢いが増していく。お皿が空に近づく
タイミングでまた10人前をお願いする。お腹が
落ち着いてきたあたりで会話が再開され楽しい
夜が続く。「全てのカロリーは私まで！」と最近

自虐ネタで笑いをとる同期の幸せいっぱい顔の横で、「もうお腹いっぱい〜!」とガリガリのお腹をさする同期がいたり、一緒にいるだけで元気をもらえる素敵な同期たちと餃子とのひと時を過ごした。結局この日は約 80 人前の餃子をお腹に収めたところで終了となった。お会計を済ませ、重くなったお腹を抱えて笑い話をしながらまたみんなで家へと帰る。この幸せな時

間の余韻に浸りながら翌日の仕事への活力をためて、ベッドに入る。

このように、仲良く楽しい同期に支えられて私は今この地で研修させていただいております。「みんな、いつもありがとう!」。あと 1 年間、院内外で今後も多くの先生方にご指導いただくことがあると思いますが、最後までどうぞよろしくお願い致します。